

令和4年度 学校評価 丹波市立春日中学校パワーアッププラン

1 目標・方針

中期的な学校運営の目標・方針	ふるさと春日を愛し、未来に挑戦する生徒の育成 ～めざす生徒像 「自立」「共生」「チャレンジ」～
本年度の重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 誰にでも居場所がある学校づくり 2 主体的に学び続ける生徒の育成 3 教員が生徒に向き合う環境づくり 4 地域や保護者に信頼される開かれた学校づくり

2 自己評価（達成状況 A:優れている B:おおむね良好 C:やや改善 D:要改善）

領域	観点	評価項目	達成状況	学校の取組状況と改善の方策
学校運営	生活指導	①開かれた学校	B	<p>① 保護者の「学校評価アンケート」から「学校の教育目標や行事、生徒の様子などが通信やHPでよくわかりますか」の問いに80%が肯定的な回答だった。さらに「HPをみられたことがありますか」の問いには74%が肯定的な回答で、昨年から25%もアップした。</p> <p>② 保護者の「学校評価アンケート」から「生徒一人一人が大切にされ、安心安全な教育が行われているか」90%(昨年81%) 「わかりやすく授業を教えようと努力しているか」85%(昨年81%)、「生徒の良いところを認めようとしているか」91%(昨年87%)が肯定的な回答であった。各項目とも増加しており、家庭との連携が深まってきている。</p> <p>③ H29:17 H30:15 R1:8 R2:8 R3:7 R4:11 「不登校未然防止マニュアル」や「生徒支援委員会」での取組を通して、取り組んだ。回復傾向にある生徒もあり、2名が教室復帰を果たしたが、コロナ禍で不安定になり増加傾向にある。更なる解消に向けて取り組みたい。</p> <p>④ 生徒の「学校評価アンケート」から「先生はあなたの良いところを認めようとしてくれますか」の問いに96%(昨年94%)が肯定的な回答であった。さらに「決まりを守っているか」の問いには98%と昨年同様高い割合となっている。「指導」から「支援」へを浸透させ、個々の成長を育てている。 また、生徒支援委員会を毎週開催し、特別な支援を必要とする生徒についての情報交換と、支援の方向性を協議し、全体で共通理解することで組織的な対応を行うことができた。 さらに、特別支援教育委員会を中心に、生徒のニーズに応じた支援の在り方を検討し実践することで、不登校傾向の2名の生徒が登校できるようになった。</p>
		②信頼関係の構築		
③不登校対策				
④指導から支援へ				
教育課程	学習指導	①授業改善 ②授業研修 ③1人1台タブレット端末活用研究	B	<p>① 生徒の「学校評価アンケート」から「教師はわかりやすく授業を教えようと努力しているか」の問いに対して、96%が肯定的な回答で、教師と生徒の関係が良好であると考えられる。さらに、生徒の「学校評価アンケート」から「あなたは授業中主体的に学習していますか」の問いに87%が肯定的な回答をしている。さらにタブレット端末を活用したり、探究学習を進めたりすることで伸ばしていきたい。</p> <p>② 4つのグループに分け、グループで研究授業、研修を行い、全教職員で共通理解した。</p> <p>③ 「1人1台タブレット端末活用研究」を進めることで、授業の中での効果的な使い方や生徒の主体的な学習に繋がるよう研究することができた。</p>

課題教育	進路指導 キャリア教育	①進路指導 ②アントレプレナーシップ教育	A	① 進路指導担当を中心として、キャリア教育の観点から、全学年で取り組み、入試制度についても1年生の段階から説明している。 ② 全学年でアントレプレナーシップ教育を推進し、ふるさと春日を愛する心情を醸成するとともに、探究教育を充実させることができた。1年生の「調べ学習」や2年生での「トライやる・ウィーク」とも関連付け、系統的な取組として実施することができた。
------	----------------	-----------------------------	---	--

3 学校関係者評価

- ・学校全体が落ち着いて教育活動が展開されており、教師と生徒との関係が良好であると感じた。「指導から支援へ」の取り組みが浸透していると思う。
- ・HPや連絡メールを使った連絡が迅速に行われており、保護者としては助かっている。
- ・校外で生徒がよく挨拶をしてくれる。
- ・課題として挙げられていることは、家庭の教育とも関係があるところで、保護者としてもしっかり意識して取り組んでいきたい。
- ・不登校生に対しても、多様な進路を保証していただいて感謝している。不登校解消に向けては、個々の心のケアを重視し、さらに取り組みを継続してほしい。

4 次年度の改善の方向性

- ① 「指導から支援へ」を徹底し、生徒の人権が大切にされる学校を目指す。
 - ② 不登校の未然防止に向けた組織的な取組と早期対応を実施する。
 - ③ ICTを活用し、「主体的・対話的で深い学び」を目指したさらなる授業改善を行う。
 - ④ HP等で積極的な情報発信を行い、保護者・地域との信頼関係を構築する。
 - ⑤ 探究学習を中心に、ふるさと春日に誇りを持ち、愛すことのできる取組を推進する。
- 令和 5年 3月10日
 学校名 丹波市立春日中学校
 校長名 細見 能成